広島 よみうり文芸

短歌

山本 光珠 選

和を持って自治会長を引き受けてパソコン習い行事追う妻
呉市 植田 実

【評】簡単ではないことを引き受け、新たに学びさえしつつ奉仕しておられる。「和」との理想を詠み込み、そばで励ます思いがあふれています。

海渡り八面六臂の青年に活力もらい今日も動しむ
福山市 肥後 弘子

【評】海外で何人分もの働きをする青年。身近な人か、報道などで知ってか、いずれ、そこから活力を得るのは日本人の未来を思えばこそでしょう。

温かきみそ汁飲みたし今朝の涼外の空気を白く感じて
安佐南区 土井 京子

【評】「涼」を感じたのが最初、次いで「空気を白く感じ」、「みそ汁」、の順かといえば、混然一体とも取れ、時制のない配置が奏功しています。

秋風に裾の広がるワンピース歳は語らずと少しの勇気
福山市 速水 定子

目標を決めてしっかりがんばれと応援の声仏間にひびく
呉市 平賀 敏子

花びらの開く映像見ていれば樹木葬またよきかなと思ふ
呉市 水野美那子

娘がくれし短歌全集脇に置き読売歌壇じっくりしたたむ
福山市 山野 静江

帰る日の間近になりし秋つばめ夕暮れの空いつまでも飛ぶ
呉市 岩田 淳子

十五夜に集う思いはさまざまなり友と語らい明日への糧に
福山市 岡田 節子

ふる里の霊峰頂く三倉岳流るる汗に笑顔輝く
大竹市 佐伯 仁

他の人のつまずきを笑う人もいれば手をさしのべてくれる人あり
福山市 塩出 弘子

被害ではなけれど三十六度ありて抹茶の緑の氷菓しむ
福山市 須崎 民子

秋彼岸地上の暑さ弱まらずひがん花遅れ青草の道
福山市 高田 弘子

選者詠

鉄道に敷く石灼けてゆるぎなき三条 人みなその旅を生ぐ
山本 光珠

俳句

鈴木 厚子 選

曼珠沙華父に死線を越えし日々
福山市 肥後 弘子

【評】遠くに咲いている曼珠沙華の朱、線のような列を見ながら、父は何度も死線を越えたよなぁと。死線と曼珠沙華の紅の列が目に痛い。

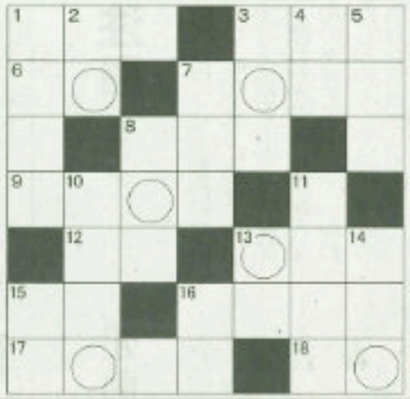
曼珠沙華先祖と見下ろす駆逐艦
呉市 谷村 常雄

【評】駆逐艦に乗っていた先祖をもつ人が、丘から護衛艦を見下ろしている。曼珠沙華の紅に犠牲となった先祖と共に、多くの戦死者を偲んでいる。

木の実落ち子の歓声の中を落ち
安佐南区 古本 健治

【評】木の実が落ち、しかも子の歓声の中を落ちて

yomiクロ



○の字を組み合わせ、答えを作ってください。ヒントは「老後の生活設計を考えてみましょう」です。応募は、はがきに答えと住所、氏名、年齢、職業（学年）、電話番号を書き、〒720・0815福山市野上町1の9の27、読売新聞福山支局へ。正解者の中から抽選で10人に図書カードを贈ります。締め切りは12月4日（必着）です。当選者発表後、2週間たってもカードが届かない場合は支局（084・927・1111）へご連絡ください。

たてのカギ

①キャッサバの地下茎からとれるでんぷん。日本では一時、大ブームだった
②山水画などの余白に書き添えた詩文
③映画をフランス語で
④行動に枠をはめて自由にさせないこと
⑤形がゆがんでいること
⑦思いがけない巡り合い
⑧日本で、杉に次いで多く植林されている針葉樹
⑩ロウで固めた棒状の絵の具。フランス語では鉛筆の意味
⑪価値や価格がどれくらいかを見定めること
⑬ある物事をわかりやすく表現するため、似かよったものなどに置き換えること
⑭日本酒の原料米を蒸すための大型の蒸し器
⑮とじ目をふさぎ、開けられないようにすること
⑯恵みの雨。干天の――

よこのカギ

①種類が多く華やかなこと
③門の内と外の仕切りとして敷く横木。――が高い
⑥物を留めておく針
⑦記憶に残すべき出来事などがあった日
⑧日本では北海道にのみ生息している、国内最大の哺乳類
⑨特定の所に物を納め入れること
⑫川や海などに堆積（たいせき）する粒子のうち、直径2ミリ以上のもの
⑬主に鶏のひな鳥の名称
⑮授け与えること
⑱近代初期の欧州に多く存在した、マスケット銃で武装した歩兵
⑰物やシステムが持つ機能を生かして用いること。資産――
⑱もっすぐ旬の二枚貝。広島や岡山、宮城が名産地

前回の答え

テブクロ

当選者は次のみなさん。
久阪三栄（南区）松井千代子（呉市）梶吉俊彦、福山華寿（東広島市）石原貞子（海田町）中西静枝、野畑武（福山市）小柳豊彦（尾道市）中奥タカ子（三原市）藤木隆（府中市）

当番医

（内は内科、外は外科、小は小児科、泌は泌尿器科）

1日

【福山市】（午前9時～午後5時）池田耳子ハートクリニック（内）、若松町、084・926・3767▽沼南医院（内）、駅家町、084・982・2044▽なかよし小児科、引野町、084・943・1774▽岡本耳鼻咽喉科医院、御幸町、084・961・0017▽瀬尾クリニック（泌、内）、今津町、084・934・2233▽松永脳外科クリニック、宮前町、084・933・2184▽上田内科、神辺町、084・963・5446▽みよし内科、駅家町、084・983・1159▽内藤クリニック（内、外）、駅家町、084・977・1070▽福山夜間成人診療所（午後7時30分～11時＝外科は要事前連絡）、三吉町南、084・982・9946▽福山夜間小児診療所（午後7時～10時30分）、三吉町南、084・922・4989

【府中市】（午前9時～午後5時）河村内科、府中町、084・47・6300▽府中北市民病院、上下町、0847・62・2211

【尾道市】山本病院（内、午前9時～正午、午後1～5時）、高須町、0848・46・0634▽西医院（内、小、午前9時～正午、午後1～5時）、手崎町、0848・23・2437▽住元整形外科医院（外、午前9時～午後5時）、栗原西、0848・22・3800▽市民病院付属瀬戸田診療所（午前9時～午後5時）、瀬戸田町、0845・27・2161▽因島医師会病院（内、午前9時～正午、午後1時30分～3時30分）、因島中庄町、0845・24・1210

【三原市】市医師会休日夜間急患診療所（医師会病院内、救急のみ、内、外、事前連絡必須）、宮浦、0848・67・7040▽三原赤十字病院（小、午前9時～11時30分、午後1時～3時30分）、東町、0848・64・8111

ナッツの夢 瀬戸内で

レモンの島 栽培挑む 福山の企業

瀬戸内海を望む「しまなみナッツファーム」（9月、尾道市の生口島で）＝徳永製菓提供

福山市の豆菓子製造会社「徳永製菓」が、レモンの島として知られる尾道市の生口島で、ナッツ類の栽培に挑戦している。ナッツ類を使った同社菓子の需要が高まったことを機に約3年前に始め、今年はアーモンドの実を10㌔収穫できた。同社は「ナッツがレモンに次ぐ島の特産品になれば」と期待を膨らませる。

▲収穫したアーモンドの実を手に取る上迫社長（福山市で）
▶桜のような花をつけたアーモンドの木（4月、生口島で）＝徳永製菓提供

徳永製菓は1869年創業。落花生や大豆、空豆といった豆類をきなこやチョコレートなどで包んだ豆菓子を軸に、ナッツ類の加工菓子も手がけてきた。

近年、ナッツ類は「栄養素が豊富」などとして全国的に人気が高まり、同社のナッツ菓子の売り上げも急伸した。原料のナッツ類は全て輸入品だが、「実際に育てて理解を深めたい」と栽培を決めた。

ナッツ類は地中海周辺など温暖な地域で盛んに栽培され、「似た気候の瀬戸内も適しているのでは」と考え、生口島の耕作放棄地約2800平方㍍を借りて農地。「しまなみナッツファーム」と名付けた。2022年春、社員や家族が集まり、アーモンド、ピスタチオ、ヘーゼルナッツなど計6種類64本の苗木や種を植えた。

上迫豊社長（58）は「分からないことばかりで全てが手探りだった」と振り返る。ピスタチオは12個の種を植え、一部は芽が出たが、全部枯れた。それでも諦めず、上迫社長ら社員はたびたび足を運び、草刈りに精を出した。島のシルバー人材に日頃の水やりを依頼し、農家には肥料のやり方など基本を教えてもらった。

成果が出たのがアーモンドだ。桃の近縁種であることから、地元の桃農家に助言をもらって育てたところ、昨年夏に26本の木から約3㌔の実を収穫。今夏は約10㌔にまで増えた。

ただ、実は不ぞろいで菓子に使えない。他のナッツ類も育っているが収穫に至っておらず、原料化へ課題も多い。それでも、上迫社長は「地元の方々の温かい支援のおかげで何とか形になってきた。今後も取り組みを続ける」と意気込む。

春に咲くアーモンドの花は、桜によく似てきれいだという。「ある場所ではナッツの花、ある場所ではレモンの花が咲く。そんな光景が広がれば」と思い描く。